



石巻市

# 文化財だより(第7号)

埋蔵文化財緊急発掘調査特集

## もくじ

狐崎スケカリ浜遺跡の発掘調査	2
—漁港関連道路建設にかかる緊急調査—	
沼津貝塚の発掘調査	6
—史跡標識設置部分発掘調査—	
梨木畠貝塚の発掘調査	10
—人骨埋葬状況調査—	

## はじめに

石巻市教育委員会社会教育課

今回は從来まで石巻市教育委員会が実施してきた埋蔵文化財の発掘調査のうち進んだ遺跡について、ご紹介したいと思います。

スケカリ浜は昭和49年に行なわれた、

糸崎、福賀浦間の漁港開発道路の建設工

事に伴ない発見されたもので、調査時点すでに大半が消滅していました。

また沼津貝塚は、史跡標柱、説明板、注意板を設置する敷地部分について実施した、記録保存のための発掘調査概要です。

梨木畠については、昭和51年住宅内で出土した貝塚人骨の状況調査を報告し

たもので、近年に於ける開発の進展は、市内に約80ヶ所ある各時代の埋蔵文化財に重大な影響を及ぼしています。

多くの場合、道路地の所有者などが行

う宅道や開田、畑造など小規模な破壊が多いのですが、最近は公共事業による場合も多くなっています。

特に区画整理や道路建設などの場合は個人事業によるものより規模が大きくなり遺跡全体あるいは複数の遺跡が消滅してしまう危険があります。

市行政では、こうした貴重な埋蔵文化財の破壊を未然に防止するため、関係開発部局とたえず連絡を取りながら、できるだけ埋蔵文化財を保護するよう努力し

ていますが、年々埋蔵文化財の現状変更

状況になってきております。

したがって、これらの保護を進めるには、地権者をはじめ、一般市民の方々の理解と保護に対する認識の高揚が必須条件であり、今後、市としても精一杯の努力を傾けるつもりです。一般市民の方々のより一層のご協力を願い申し上げます。

埋蔵文化財は地下や水中に埋設している過去の人間活動の証跡全体を意味しており、土器や石器などの遺物ばかりではなく、それらの置かれていた状況や、住居跡、歩跡、貯蔵穴などの遺構との有機的関係が重要な意味をもっています。

従って遺跡を破壊し、その有機的関連を断つてしまう事は、土器や石器、住居跡などの遺物、遺構を、單なる骨董品に化することに等しく、金銭的価値は見出しえても、知識や真理の源泉としての価値は失なわれてしまうでしょう。

ですから、埋蔵文化財は、現在活用するに必要な範囲の発掘は実施すべきですが、できる限りこれを保存し将来的の活用に期するよう配慮するのが現代人の義務ではないでしょうか。

なお、本号に掲載した報告文は、調査担当者、石巻市文化財保護委員会本部の指導のもとに、石巻市教育委員会社会教育課が作成したものです。

また写真、挿入図の作成も社会教育課が担当したもののです。

## 緊急発掘調査(53.3現在)



## 狐崎スケカリ浜遺跡の発掘調査

### —漁港関連道路建設にかかる緊急調査—

遺跡所在地 石巻市大字狐崎字スケカリ

調査期間 昭和49年9月25日～10月7日  
調査面積 約10m<sup>2</sup>

調査主体者 石巻市教育委員会  
調査担当者 文化財保護委員 木村敏郎  
文化財保護委員 佐藤雄一  
石巻市教委 今泉長厚  
中田光一

スケカリ浜遺跡は、国鉄仙石線石巻駅の東南約7kmの牡鹿半島西岸、仙台湾に面した海岸段丘上にあり、標高約20mを数える。

本遺跡の周辺は、牡鹿半島部で最も遺

跡分布密度が高く、主要なものとして、本遺跡の南方約2.7kmに仁斗田貝塚、南東約2.3kmに給水浜貝塚、東方約1.5kmに藤畠遺跡などが知られている。

### 2、調査の概要

**A 地点** 本地点は発見時、狐崎から福賀浦に至る漁港関連道路工事により、すでに大半が破壊されており、破片貝や土器等の遺物が、路上に散見される状況であった。主体部は大略削平されていると思われたが、一部道路下に残存している事を想定し約10m<sup>2</sup>の発掘区を設定したが、調査開始後、ただちに地山面に到達したので発掘調査は中止し、土層等の観察及び遺物の採集を行ない終了した。

削平部分の地面に若干に残存した包含層の層序は、礫層を多く含む約20cmの表土下に5～10cm程度の黒褐色を呈し、土器片等の遺物を含む包含層があり、その下位は黄褐色土より成る地山面に移行していた。

包含層は、すぐ東部を流れる沢にむかってテラス状に張り出した緩傾斜地に形成

成されたテラスは約30mの広さを有する。  
堆積層はその沢に向つて若干傾斜し厚くなつてゆく状況が観察された。

また一部に小貝塚を伴つていたが、すでに削平されているため、年代及びその広がりは明確ではなかつた。

貝層は破碎した貝殻を多数含む混土貝

層の状態を示し、確認できた貝種には、

イシダタミ、レイシ、ツメタガイ、ヘビ

ガイ、マギキ、ザザエ、オオノガイ、イ

ボニンがあり、そのうちイシダタミ、レ

イシの比率が非常に高い。

一枚貝はほとんど確認されず、貝巻を

中心にした岩礁性貝種により構成され

ている。

**B 地点** 本地点はA地点の調査時に行つた周辺調査により発見されたもので、発掘は実施しなかつた。

遺跡はA地点南約50mのスケカリ浜

入り口平地に形成されており、標高約1.6mを数える。

遺跡は波に浸食された海岸表面に遺物包含層

が露出しており、遺跡形成時の海岸線よ

り大部分浸食されていると考えられる。

海岸部の包含層露頭における層序は、

群一大木3式、C群一大木4式、D群

大木8b式、E群一大木9式、F群一大

木10式に相当すると思われる。

石器には削器（II図2、4）及び剥片

（II図3）が認められるが、伴出土器型

式は不明である。

他に特徴的なものとして、7点の磨石

がある。

海岸に多数露出する砾を利用したもの

で、長軸に平行な側面、または短軸に平

行な面に著しい磨痕が見られる。

材料質は頁岩（III図2、安山岩（II図1

III図4）、砂岩（III図1、3、5、6）によ

り成る。

伴出土器型式は不明であるが、おそらく

大木4式に伴うものと思われる。

4、まとめ

① A地点は範囲が狭く、かつ薄い包含層にもかかわらず、6型式の土器を出土しておる。その立地と合わせ見た場合、繩文時代前期後半及び中期後半に亘り形成された、仮治地的性格の強い遺跡であると推定される。

② B地点は平安時代に形成され、焼土面や焼石が広い範囲に散見されるところから、製塙遺跡の可能性も考えられる。

3、遺物

A地点からは、約40片程の繩文式土器

片が採集されたが、多くは細片であり年

代決定できる資料は少ない。

海岸部の包含層露頭における層序は、

近年までカキ採り場に使用されていたた

め、約40センチに及ぶカキ貝の堆積層が

見られ、更にその下位は黄褐色土の地山面

へと移行している。

遺物はこの砂層の下半部に包含されて

おり、約40センチに及ぶカキ貝の堆積層が

見られ、更にその下位は黄褐色土の地山面

へと移行している。

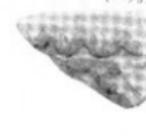
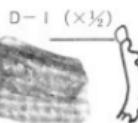
遺物はこの砂層の下半部に包含されて

A地点(縄文)の近景

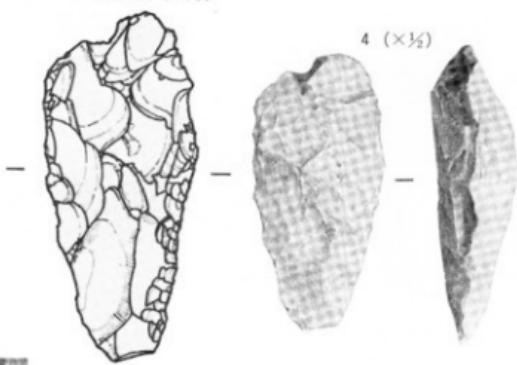


I 図

スケカリ浜遺跡(東部より見る)

A-1 ( $\times \frac{3}{2}$ )B-1 ( $\times \frac{3}{2}$ )B-2 ( $\times \frac{3}{2}$ )A-2 ( $\times \frac{3}{2}$ )A-3 ( $\times \frac{3}{2}$ )C-1 ( $\times \frac{3}{2}$ )C-2 ( $\times \frac{3}{2}$ )E ( $\times \frac{3}{2}$ )D-3 ( $\times \frac{3}{2}$ )F-1 ( $\times \frac{3}{2}$ )F-2 ( $\times \frac{3}{2}$ )

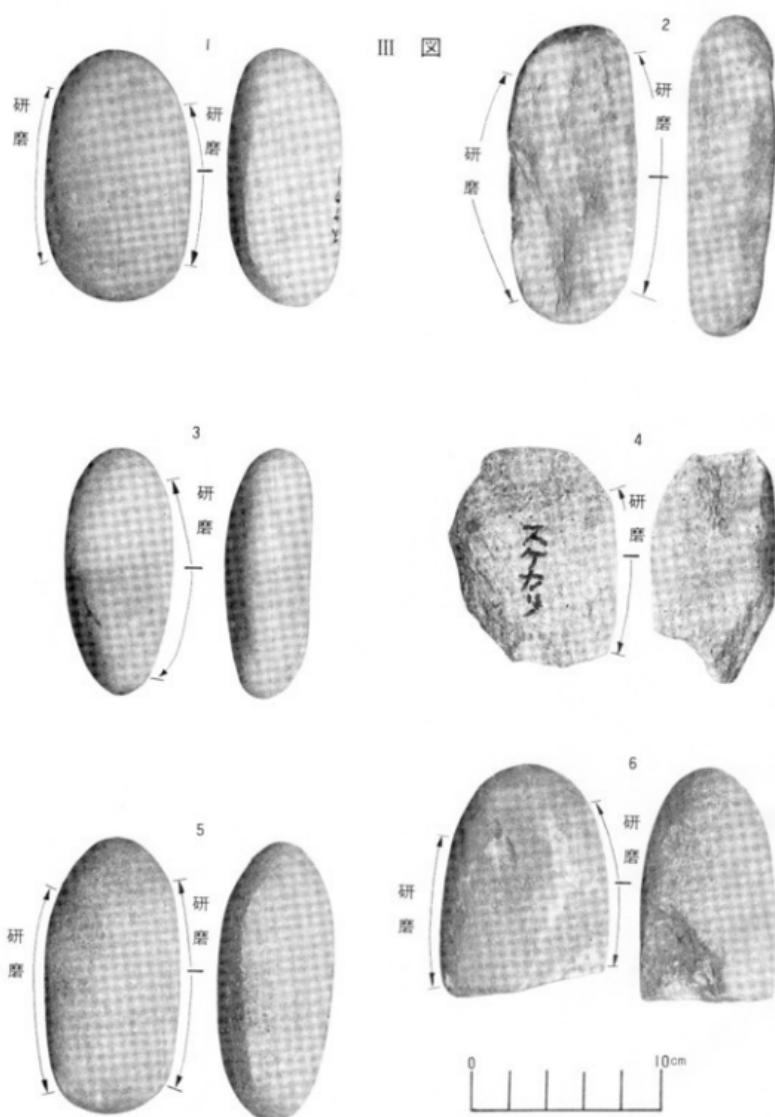
II 図

4 実測図 ( $\times \frac{3}{2}$ )

B地点土師器の出土状況

B地点出土土師器（左写真を接合） ( $\times \frac{3}{2}$ )

III 図



# 沼津貝塚の発掘調査

## —史跡標識設置部分発掘調査—



遺跡所在地 石巻市沼津字出外

昭和50年1月10日～14日

調査面積 約25m<sup>2</sup>

調査主体者 石巻市教育委員会

調査担当者 文化財保護委員 木村敏郎

文化財保護委員 佐藤雄一

石巻市教委 岩佐直

石城宏

尚絅女学院短大 佐藤正人

東北学院大史学科三塚敏明

東北学院大史学科三塚敏明

中村光一

石巻高等學校学生 3名

石巻市教委

浅野繁雄

調査協力者 地権者

中村光一

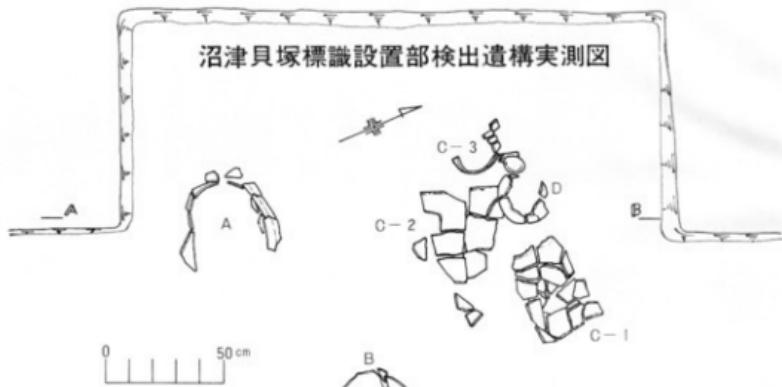
石巻市教委

3名

中村光一

石巒高

3名



至八幡神社 農道

至越田  
市道沼津一號線

至金山

発掘調査箇所

0 5m

沼津貝塚発掘調査地点測量図

## I 図

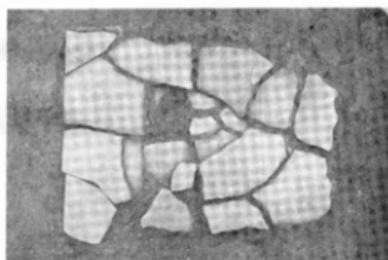
発掘の状況



土器群検出状況



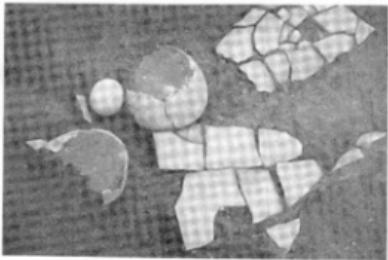
土器（C-I）出土状況



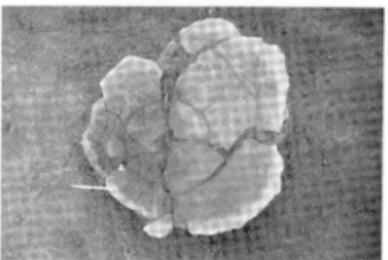
土器（A）の出土状況



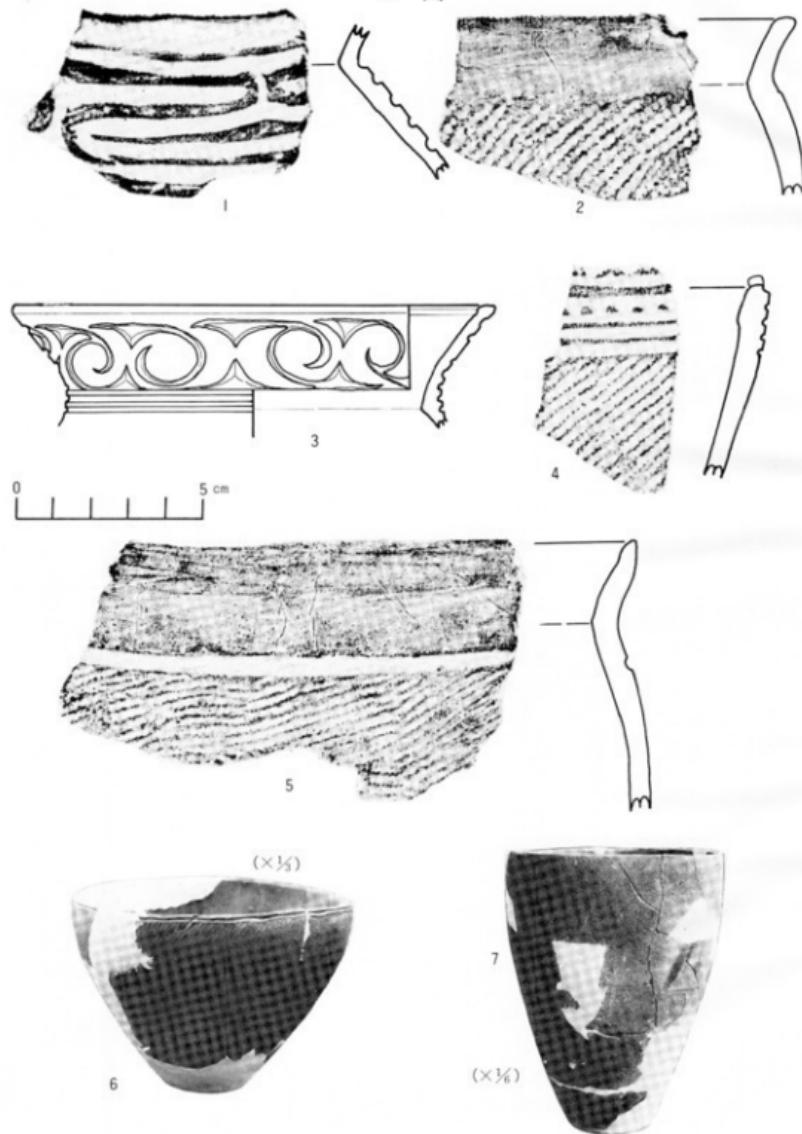
土器（D）の出土状況



土器（B）の出土状況



II 図





調査地点と梨木畠貝塚の遠景

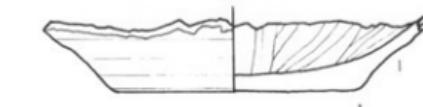


I 図

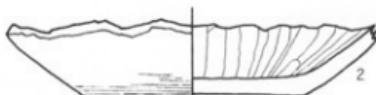
調査区域の状況



人骨の検出状況



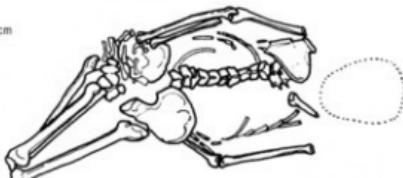
0 3 cm



石組みを取りはずしたところ

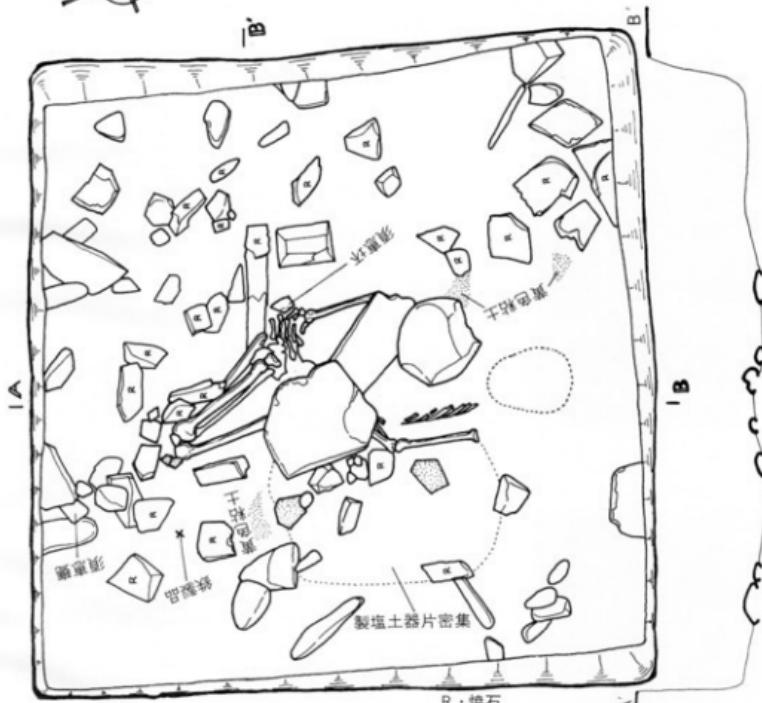


II 図



B

B



A

B

A'

B'



---

## 石巻市文化財だより

埋蔵文化財緊急発掘調査特集

昭和53年3月31日印刷

昭和53年3月31日発行

発行 石巻市教育委員会  
石巻市日和ヶ丘一丁目1番1号

監修 石巻市文化財保護委員会

印刷 株式会社 七星社  
石巻市南光町二丁目220-1

---